

明日の医療を考える

# Astellas Square

〈特集〉 喘息・COPD 治療における新たな展望





# 復興

小島祥敬

福島県においては、大震災による医療サービスの低下、医師不足と偏在など、医療を取り巻く環境は厳しいのが現状です。県民の皆さまが、住み慣れた地域で生涯安心して暮らせるような心の通う医療の実現と、大学病院を中心とした医療連携体制を再構築することに、精一杯取り組みたいと思います。そして、震災からの大復興に、一泌尿器科医の立場として微力ながら貢献したいと考えています。

「私たちは必ず、美しいふるさとふくしまを取り戻します。私たちは必ず、活力と笑顔あふれるふくしまを築いていきます。そして私たちは、このふくしま復興の姿を世界へ、未来へと伝えます。」

(3.11 ふくしま復興の誓い 2012「ふくしま宣言」より)

小島 祥敬 (こじま・よしゆき)

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座教授

1995年名古屋市立大学医学部卒業、同泌尿器科学講座研修医。名古屋市立東市民病院を経て、2003年名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野助手、08年同講師。12年より現職。日本泌尿器科学会（代議員）、日本排尿機能学会（理事）、日本泌尿器内視鏡学会（評議員）、日本小児泌尿器科学会（評議員）、日本アンドロロジー学会（評議員）などに所属。【専門領域】ロボット支援下手術、下部尿路機能障害、小児泌尿器科、生殖内分泌学